

普通科目（世界史A）の学習指導案 17No4

1. 指導目標

- (1) 自然科学の発達や技術の高度化を背景に、第2次産業革命が進行して産業構造が大きく変化するとともに、自動車の登場や鉄道・船舶の改良によって人や物の移動の範囲が広がり速度が増したこと、マスメディアが発達したことなどをとらえさせる。
- (2) 産業構造の変化は企業を巨大化した一方、社会の大衆化を招いたことを理解させる。

2. 指導項目・内容

	指導項目・内容	時間(分)	指導上の留意点
導 入	・ 本時の目標を確認する。 ・ 高度資本主義と大衆社会について概略を説明する。	5	・ 資本主義経済の仕組みについても理解させる。
展 開	・ 独占資本と海外膨張 第2次産業革命について 重化学工業の発達 数多くの発明品 企業の大規模化と系列化 対外進出について 独占資本について ・ 世紀末のヨーロッパ 大衆社会の登場（新中間層の出現） 第2次産業革命と発明家について	85	・ 高度の科学技術にささえられて、プラスチックなど重化学工業が発達したことを理解させる。 ・ エンジン、モータ、電灯、電話、蓄音機、自転車、自動車などの現代の必需品がこの時代に発明されたことを説明する。 ・ 電磁気や放射能物質（キュリー夫妻）、細菌学や有機化学、医学・公衆衛生や軍事技術が発達したことを理解させる。 ・ ダイナマイトの発明に触れる。
整 理	・ 産業革命で人や物の移動の範囲が広がり速度が増したことやマスメディアが発達したことを理解させる。	10	・ 発明が人類の生活を変化させることに気付かせる。
備 考	「現代の世界史（世界史A）」〈山川出版社〉P111～P113「帝国主義の時代・高度資本主義と大衆社会」		